

■「最前線はまかせろー夏に鍛える 1部6校のDLたち」④

機動力でかき回すー帯広畜産大

昨季の北海道学生選手権1部で6年ぶりの最下位に沈み、2部優勝の北海道科学大との入れ替え戦に勝利して1部の座を死守した帯広畜産大カウボーイズ。DLリーダーの山田雄太（3年）は「去年は鏡（順之助、当時4年）さんと自分がリーグ戦序盤でひざをけがして、攻守のラインが薄くなった。チームも自分も不完全燃焼のシーズンだった」と巻き返しを決意する。

今季のDL陣は主将も務める卯野優翔（4年）、西村駿佑（4年）、山田、佐藤大輝（1年）が先発する。卯野は昨季までのLB、DBからコンバートでスピーソが自慢。西村は経験十分でプレーリードに自信を持つ。4年生2人が両サイドを固め、インサイドの山田は179センチ、115キロのパワー、1年生で抜擢された佐藤は闘争心が武器だ。バックアップ要員は3人。山田リーダーは「インサイドがDLとしては軽めだが、軽さを逆手にとって機動力でスクリメージラインをかき回す」と宣言する。



春季オープン戦は釧路公立大に20-36と敗れたが、東京農業大には35-12で逆転勝ちした。山田リーダーは「釧路戦は相手OLにインサイドが狙われた。これを反省材料に練習で当たりを強化し、東農大戦の勝利につなげた」と、成長を強調する。そして「1年生選手たちが成長すれば、来年、再来年のチーム力にもつながる」と付け加える。8月10日から始まった強化練習ではメニューの最後に、サイドラインを3往復するダッシュを3セット行った。少数精鋭の戦いに欠かせない脚力とスタミナアップが狙いだ。

8月24日の開幕戦は、連覇を狙う北海学園大が相手。西村が「初戦の学園大、2戦目の北大をケチョンケチョンにして、その勢いで優勝を狙う。石川県出身なので、金沢で行われる全日本選手権に凱旋する」と宣言すると、卯野主将も「パスラッシュでぼこぼこにする。1試合3サックが目標」と相づちを打った。山田リーダーは「ランで一步も通させない」と決意し、佐藤も「スタートからのパワーでQBサックも狙う」と意気込んだ。（塚田博）

【写真】

「入れ替え戦はもうごめんだ」と意気込む左から西村、山田、佐藤、卯野